

平成30年7月23日

第6地区教科用図書採択教育委員会協議会  
会長 様

第6地区教科用図書調査委員会  
種目<道徳科> 委員長 大場 八仁

平成31年度使用中学校教科用図書調査に関する報告について  
このことについて、次のとおり報告いたします。

報 告 書

1 調査委員会における審議経過について

7月2日(月)第1回調査委員会(会場:東神楽町役場)

- 教科用図書調査委員会規則の説明を受けた。
- 教科用図書の調査研究の観点及び報告方法について説明を受けた。
- 教科用図書の採択に関する日程について説明を受けた。
- 小委員会を開催した。
- 委員長及び副委員長を選出した。
- 調査研究の方針、観点及び報告案作成要領を確認した。
- 調査研究の手順及び研究分担を確認した。

7月3日(火)～7月8日(日)自宅における調査研究

- 自宅において、採択参考資料等を参考として、見本本について調査研究を行った。

7月9日(月)～7月10日(火)第2回調査委員会及び小委員会

(会場:東神楽町役場)

- 出席委員5名
- 委員会の概要
  - ・第6地区教科用図書調査委員会規則に則り、教科書編集趣意書及び北海道教育委員会が示す採択参考資料を参考に十分論議を尽くした。
  - ・小委員会において慎重に検討した。

2 報告する教科用図書について

別紙のとおり、すべての教科書について報告した。

3 少数意見等

特になし

様式2

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	2・東書	第1学年 第2学年 第3学年	道徳 721 道徳 821 道徳 921	新しい道徳 1 新しい道徳 2 新しい道徳 3
取 扱 内 容 〔学習指導要領の教科「道徳」の総則及び目標、内容等〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生命の尊厳について 第1学年では、命を形で表すとどのような形になるか、命の大切さやありがたさを実感したことにはどのようなことがあるかを考える活動等、第2学年では、生命を大切にするためにどのような気持ちが必要か、生命の尊さを心に刻んで生きていくためにはどのような気持ちが必要かを考える活動等、第3学年では、生まれてきた命とはどのようなものだと思うか、命を大切に生き抜いていくにはどのようなことが大切かを考える活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</li> <li>○ 自然について 第1学年では、自然とのつながりを感じるのとはどのようなときかを考える活動等、第2学年では、野生の生き物などを含め自然とどのように関わっていくことが大切かを考える活動等、第3学年では、自分が関わっていくことができる自然を守る活動にはどのようなものがあるかを考える活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</li> <li>○ 伝統と文化について 第1学年では、郷土に住み、郷土の一員であることを実感できるのとはどのようなときかを考える活動等、第2学年では、郷土のために自分ができることはどのようなことかを考える活動等、第3学年では、自分たちの郷土にはどのような心が息づいているかを考える活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</li> <li>○ 情報化への対応について 第1学年では、インターネットを扱い、短文投稿サイトに友達への悪口を書くようになってしまったかを話し合う活動等、第2学年では、メッセージアプリを扱い、友達との友情を育てていく上で大切にしなければいけないことはどのようなことかを話し合う活動等、第3学年では、SNSを扱い、メッセージのやりとりを通して友達との関係をよりよくするために必要なことはどのようなことかを話し合う活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</li> </ul>			
内 容 の 構 成 ・ 排 列 ・ 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列 言語活動については、「話し合いの手引き」や「つぶやきコーナー」を配置し、問題解決的な学習については、教材冒頭の問題提起から解決を図る「考えてみよう」を配置し、体験的な学習については、役割演技による学習を示した「アクション」を配置するなど、生徒が多面的・多角的に思考できるよう工夫されている。</li> <li>○ 内容の分量※ 第1学年～Aは8教材、Bは9教材、Cは15教材、Dは9教材、Eは4教材、全体で45教材あり、総ページ数は181ページとなっている。 第2学年～Aは7教材、Bは8教材、Cは15教材、D11教材、Eは4教材、全体で45教材あり、総ページ数は189ページとなっている。 第3学年～Aは7教材、Bは7教材、Cは18教材、Dは9教材、Eは4教材、全体で45教材あり、総ページ数は189ページとなっている。</li> </ul>			
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年に、学期ごとに学習の記録を残すことができる「自分の学びをふり返ろう」を配置し、自らの道徳的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒が自らを振り返るための工夫がなされている。</li> <li>○ 各学年に、自分が住む地域について考えるきっかけとなる「郷土のことを考える」を配置し、家庭や地域との連携を深めるための工夫がなされている。</li> <li>○ 道徳の学習の進め方を示すページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどを採用したりするなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>			
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 北海道と関連のある教材は「『どうせ無理』という言葉に負けない」など8箇所取り上げられている。</li> <li>○ いじめ問題については、友情を育てていく上で大切にしなければいけないことは何かを考える活動等を取り上げている。</li> </ul>			

※ 「内容の構成・排列、分量等」の「内容の分量」のAは「主として自分自身に関する事」、Bは「主として人との関わりに関する事」、Cは「主として集団や社会との関わりに関する事」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材」を表す。

様式 2

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	11・学図	第1学年 第2学年 第3学年	道徳 722 道徳 822 道徳 922	輝け 未来 中学校道徳1年 輝け 未来 中学校道徳2年 輝け 未来 中学校道徳3年
取扱内容 〔学習指導要領の「道徳」及び「特別の教科」の目標、内容等〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生命の尊厳について 第1学年では、命についてどのようなことを感じているか、「かけがえのない命」という言葉からどのようなことを連想するかを考える活動等、第2学年では、命を輝かせて生きるためにどのようなことを大切にしたいか、家族や友達、周囲の人たちの命についてどのようなことを感じるかを考える活動等、第3学年では、生きることの大切さとはどのようなものか、生命のかけがえのなさや尊さをどのように感じるかを考える活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</li> <li>○ 自然について 第1学年では、自分が大切に思う自然の姿にはどのようなものがあるか考える活動等、第2学年では、身の回りの自然に対してどのようなことを忘れずに思い続けていきたいか考える活動等、第3学年では、自然に対してどのような関わり方をしていくか考える活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</li> <li>○ 伝統と文化について 第1学年では、郷土の伝統や文化を大切にするためにすべきことはどのようなことか考える活動等、第2学年では、自分が将来に向けて残していきたいと思う郷土の文化や産業にはどのようなものがあるか考える活動、第3学年では、郷土のどのようなことにどのような思いをもって関わっていきたいか考える活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</li> <li>○ 情報化への対応について 第1学年では、ブログを扱い、「個人の自由」と思えることであってもどのようなことを考えて判断するとよいかを話し合う活動等、第2学年では、インターネットを扱い、相手や自分に誠実であるためにインターネット上のやりとりでどのような心構えが必要かを話し合う活動等、第3学年では、インターネットを扱い、匿名での書き込みをする際どのようなことに気を付けるとよいかを話し合う活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</li> </ul>			
内容の構成・排列・分量等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列 言語活動については、様々な見方や考え方を出し合ったり話し合ったりする「学びに向かうために」を配置し、問題解決的な学習については、道徳的問題について考えを出し合う教材を配置し、体験的な学習については、役割演技による学習を用いた教材を配置するなど、生徒が多面的・多角的に思考できるよう工夫されている。</li> <li>○ 内容の分量※ 第1学年～Aは7教材、Bは6教材、Cは16教材、Dは6教材、Eは8教材、全体で43教材であり、総ページ数は224ページとなっている。 第2学年～Aは7教材、Bは6教材、Cは16教材、Dは6教材、Eは8教材、全体で43教材であり、総ページ数は228ページとなっている。 第3学年～Aは7教材、Bは6教材、Cは16教材、Dは6教材、Eは8教材、全体で43教材であり、総ページ数は224ページとなっている。</li> </ul>			
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年に、「一年間の振り返り」や教材ごとの「学びの記録」を配置し、自らの道徳的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようにするなど生徒が自らを振り返るための工夫がなされている。</li> <li>○ 各学年に、家庭教育との連携を図ることを目的とした「保護者の方へ」や「さあ、楽しい夏休み！」を配置し、家庭や地域との連携を深めるための工夫がされている。</li> <li>○ 道徳の学習の進め方を示すページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどを採用したりするなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>			
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 北海道と関連のある教材は、「北限の稲作に挑む」など3箇所取り上げられている。</li> <li>○ いじめ問題については、本当の友情を育むためにはどのようなことを大切にしていきたいか考える活動等を取り上げている。</li> </ul>			

※ 「内容の構成・排列、分量等」の「内容の分量」のAは「主として自分自身に関する事」、Bは「主として人との関わりに関する事」、Cは「主として集団や社会との関わりに関する事」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材」を表す。

様式 2

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	17・教出	第1学年 第2学年 第3学年	道徳 723 道徳 823 道徳 923	中学道徳 1 とびだそう未来へ 中学道徳 2 とびだそう未来へ 中学道徳 3 とびだそう未来へ
取 扱 内 容  〔 学 習 指 導 要 領 の 道 徳 〕 の 目 標 、 内 容 等 〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生命の尊厳について 第1学年では、人間として強く生きていくために必要なことはどのようなことか、生きるために大切なことはどのようなことかを考える活動等、第2学年では、精一杯生きるとはどのように生きることか、命を大切にするとどのようなことかを考える活動等、第3学年では、命を大切にするとどのようなことか、生きていくということはどのようなことかを考える活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</li> <li>○ 自然について 第1学年では、身近な自然を守るためにできることはどのようなことかを考える活動等、第2学年では、自分にできる環境保護にはどのようなことがあるかを考える活動等、第3学年では、地球とともに生きるためにどのようなことができるかを考える活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</li> <li>○ 伝統と文化について 第1学年では、郷土の文化を守っていくことはなぜ大切なのかを考える活動等、第2学年では、郷土の伝統を守るために自分にはどのようなことができるかを考える活動等、第3学年では、自分がこれから大切にしたい、守っていききたい郷土のよさは何かを考える活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</li> <li>○ 情報化への対応について 第1学年では、インターネットを扱い、ルールやマナーが必要なのはどうしてかを話し合う活動等、第2学年では、SNSを扱い、よりよく使っていくことでどのようなことが得られるかを話し合う活動等、第3学年では、スマートフォンや携帯電話を扱い、「歩きながらスマートフォンを見たり操作したりすること」を規制することは必要かを話し合う活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</li> </ul>			
内 容 の 構 成 ・ 排 列 、 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列 言語活動については、教材の末尾に自分の考えを基に話し合う「学びの道しるべ」を配置し、問題解決的な学習については、異なる立場からの考えを取り上げた教材を配置し、体験的な学習については、役割演技による学習を示した「やってみよう」を配置するなど、生徒が多面的・多角的に思考できるよう工夫されている。</li> <li>○ 内容の分量※ 第1学年～Aは8教材、Bは8教材、Cは13教材、Dは7教材、Eは4教材、全体で40教材であり、総ページ数は194ページとなっている。 第2学年～Aは7教材、Bは7教材、Cは17教材、Dは5教材、Eは3教材、全体で39教材であり、総ページ数は178ページとなっている。 第3学年～Aは5教材、Bは5教材、Cは17教材、Dは9教材、Eは3教材、全体で39教材であり、総ページ数は178ページとなっている。</li> </ul>			
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年に、「道徳の学びを記録しよう」や、課題や目標を記入する「どんな〇年生になりたいか」、「そして、未来へ……」を配置し、自らの道徳的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒が自らを振り返るための工夫がなされている。</li> <li>○ 各学年に、道徳の学習と家庭をつなぐ「家の人から」を配置し、家庭や地域との連携を深めるための工夫がなされている。</li> <li>○ 道徳の学習の進め方を示すページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインを採用したりするなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>			
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 北海道と関連のある教材は、「釧路湿原を守れ」など10箇所取り上げられている。</li> <li>○ いじめ問題については、差別や偏見のない社会を築いていくためにはどのようなことが大切かを考える活動等を取り上げている。</li> </ul>			

※ 「内容の構成・排列、分量等」の「内容の分量」のAは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材」を表す。

様式2

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	38・光村	第1学年 第2学年 第3学年	道徳 724 道徳 824 道徳 924	中学道徳1 きみが いちばん ひかるとき 中学道徳2 きみが いちばん ひかるとき 中学道徳3 きみが いちばん ひかるとき
				取扱内容 〔学習指導要領の総則及び目標、内容等〕
内容の構成・排列、分量等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列 言語活動については、考え、話し合うことを中心に据えた「てびき『学びのテーマ』」を配置し、問題解決的な学習については、問題を解決するための発問「考える観点」を配置し、体験的な学習については、道徳的行為に関する体験的な学習を示した「人と人との関係づくり」を配置するなど、生徒が多面的・多角的に思考できるよう工夫されている。</li> <li>○ 内容の分量※ 第1学年～Aは8教材、Bは9教材、Cは12教材、Dは7教材、Eは17教材、全体で53教材であり、総ページ数は224ページとなっている。 第2学年～Aは9教材、Bは9教材、Cは12教材、Dは7教材、Eは16教材、全体で53教材であり、総ページ数は224ページとなっている。 第3学年～Aは10教材、Bは7教材、Cは11教材、Dは7教材、Eは20教材、全体で55教材であり、総ページ数は232ページとなっている。</li> </ul>			
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年に、教材ごとに記入する「私の気づき」や、シーズンごとの記録を残す「学びの記録」を配置し、自らの道徳的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒が自らを振り返るための工夫がなされている。</li> <li>○ 各学年に、生徒が家庭での話し合いにつなげられるコラムを配置し、家庭や地域との連携を深めるための工夫がなされている。</li> <li>○ 道徳の学習の進め方を示すページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどを採用したりするなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>			
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 北海道と関連のある教材は、「あの日 生まれた命」など11箇所取り上げられている。</li> <li>○ いじめ問題については、いじめをなくすために自分たちにはどのようなことができるかを考える活動等を取り上げている。</li> </ul>			

※ 「内容の構成・排列、分量等」の「内容の分量」のAは「主として自分自身に関する事」、Bは「主として人との関わりに関する事」、Cは「主として集団や社会との関わりに関する事」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材」を表す。

様式 2

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	116・日文	第1学年 第2学年 第3学年	道徳 725、道徳 726 道徳 825、道徳 826 道徳 925、道徳 926	中学道徳あすを生きる1、中学道徳あすを生きる1 道徳ノート 中学道徳あすを生きる2、中学道徳あすを生きる2 道徳ノート 中学道徳あすを生きる3、中学道徳あすを生きる3 道徳ノート
取 扱 内 容 〔 学 習 指 導 要 領 の 道 徳 の 総 則 及 び 目 標 内 容 等 〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生命の尊厳について 第1学年では、自分にとって生きるとはどのようなことか、自分が生きているとはどのようなことかを考える活動等、第2学年では、生命を支え合うとはどのようなことか、生命の重さや尊さとはどのようなことかを考える活動等、第3学年では、尊い命を大切に生きていくためには何が必要か、命の連続性とはどのようなことかを考える活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</li> <li>○ 自然について 第1学年では、自然と人間が共生するためにできることはどのようなことかを考える活動等、第2学年では、自然とどのように関わっていくことができるかを考える活動等、第3学年では、人間が自然と共生していくためにどのような心構えが必要かを考える活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</li> <li>○ 伝統と文化について 第1学年では、郷土を愛していくためにはどのようなことが大切かを考える活動等、第2学年では、郷土の伝統を絶やさないために必要なことはどのようなことかを考える活動等、第3学年では、伝統文化を知るとはどのようなことにつながっていくかを考える活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</li> <li>○ 情報化への対応について 第1学年では、インターネットを扱い、著作権法などのほかに自分が尊重したいから守ろうと考えるルールにはどのようなものがあるかを話し合う活動等、第2学年では、インターネットを扱い、メール等でのやりとりで自分の言葉に対する責任をもつためにはどのようなことが大切かを話し合う活動等、第3学年では、スマートフォンを扱い、自分の欲望を抑えるためにどのような努力が必要かを話し合う活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</li> </ul>			
内 容 の 構 成 ・ 排 列 ・ 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列 言語活動については、自分や友達の考えを記入する欄を別冊に配置し、問題解決的な学習については、問題をつかむ活動や考える活動を促す「学習の進め方」を配置し、体験的な学習については、道徳的行為に関する体験的な学習を示した「学習の進め方」を配置するなど、生徒が多面的・多角的に思考できるよう工夫されている。</li> <li>○ 内容の分量※ 第1学年～Aは7教材、Bは6教材、Cは15教材、Dは7教材、Eは16教材、全体で51教材であり、総ページ数は別冊を含め231ページとなっている。 第2学年～Aは7教材、Bは6教材、Cは16教材、Dは7教材、Eは17教材、全体で53教材であり、総ページ数は別冊を含め231ページとなっている。 第3学年～Aは7教材、Bは6教材、Cは15教材、Dは7教材、Eは16教材、全体で51教材であり、総ページ数は別冊を含め231ページとなっている。</li> </ul>			
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の別冊に、印象に残った学習とその理由を記入する「道徳の学習で学んだことを書いてみよう」を配置し、自らの道徳的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒が自らを振り返るための工夫がなされている。</li> <li>○ 各学年の別冊に、家庭や地域社会との連携による指導への配慮として「保護者記入欄」を配置し、家庭や地域との連携を深めるための工夫がなされている。</li> <li>○ 道徳の学習の進め方を示すページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどを採用したりするなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>			
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 北海道と関連のある教材は、「よみがえれ、えりもの森」など4箇所取り上げられている。</li> <li>○ いじめ問題については、自分の気持ちや考えを相手に伝えるためにはどのようにすればよいかを考える活動等を取り上げている。</li> </ul>			

※ 「内容の構成・排列、分量等」の「内容の分量」のAは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材」を表す。

様式2

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	224・学研	第1学年 第2学年 第3学年	道徳 727 道徳 827 道徳 927	中学生の道徳 明日への扉 1年 中学生の道徳 明日への扉 2年 中学生の道徳 明日への扉 3年
取 扱 内 容 〔学習指導要領「特別の教科「道徳」及び「道徳」の目標、内容等〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生命の尊厳について 第1学年では、命の偶然性、連続性、有限性とはどのようなことか、自分にとって命よりも大切なものがあるとするればそれはどのようなものかを考える活動等、第2学年では、一人一人の生命のつながりとはどのようなことか、生命は遠い昔から受け継がれ次の世代へ渡されていくとはどのようなことかを考える活動等、第3学年では、かけがえのない命をどのように輝かせていきたいか、自分の命は誰のものだろうかを考える活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</li> <li>○ 自然について 第1学年では、自然を守りながら人間にとって便利な生活を続けていくことはどのようにすれば可能かを考える活動等、第2学年では、自然環境の課題に対してどのようなことに取り組んでいくかを考える活動等、第3学年では、環境問題を解決するために自分にできることはどのようなことかを考える活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</li> <li>○ 伝統と文化について 第1学年では、自分が紹介したい日本の文化や伝統はどのようなものかを考える活動等、第2学年では、日本の文化や伝統を守り受け継いでいくために大切なことはどのようなことかを考える活動等、第3学年では、自分の郷土についてどのような思いを抱いているかを考える活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</li> <li>○ 情報化への対応について 第1学年では、SNSを扱い、友達とのやりとりではどのようなことに気を付けるとよいかを話し合う活動等、第2学年では、メールやインターネットを扱い、匿名でのコミュニケーションで大切なことはどのようなことかを話し合う活動等、第3学年では、インターネットを扱い、ルールやマナーを守るとどのようなことにつながるかを話し合う活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</li> </ul>			
内 容 の 構 成 ・ 排 列 ・ 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列 言語活動については、生徒が考えたことを記述する「鉛筆マーク」を配置し、問題解決的な学習については、問題解決的な学習の道筋を紹介する「深めよう」を配置し、体験的な学習については、役割演技による学習を示した「やってみよう」を配置するなど、生徒が多面的・多角的に思考できるよう工夫されている。</li> <li>○ 内容の分量※ 第1学年～Aは8教材、Bは7教材、Cは13教材、Dは7教材、Eは5教材、全体で40教材であり、総ページ数は180ページとなっている。 第2学年～Aは8教材、Bは7教材、Cは12教材、Dは8教材、Eは5教材、全体で40教材であり、総ページ数は184ページとなっている。 第3学年～Aは8教材、Bは8教材、Cは12教材、Dは7教材、Eは6教材、全体で41教材であり、総ページ数は184ページとなっている。</li> </ul>			
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年に、成長を振り返り、課題や目標を見つける「マイプロフィール」や「心の四季」を配置し、自らの道徳的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりすることができるようにするなど、生徒が自らを振り返るための工夫がなされている。</li> <li>○ 各学年に、家庭生活や地域社会に関わりのある教材を配置し、家庭や地域との連携を深めるための工夫がなされている。</li> <li>○ 道徳の学習の進め方を示すページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどを採用したりするなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>			
他 そ の	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 北海道と関連のある教材は、「町工場から宇宙へ」など8箇所取り上げられている。</li> <li>○ いじめ問題については、人を差別したりいじめたりしてしまうことがあるのはなぜなのかを考える活動等を取り上げている。</li> </ul>			

※ 「内容の構成・排列、分量等」の「内容の分量」のAは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材」を表す。

様式 2

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	232・廣あかつき	第1学年 第2学年 第3学年	道徳 728、道徳 729 道徳 828、道徳 829 道徳 928、道徳 929	中学生の道徳自分を見つける 1 中学生の道徳ノート自分を見つける 1 中学生の道徳自分を考える 2 中学生の道徳ノート自分を考える 2 中学生の道徳自分をのぼす 3 中学生の道徳ノート自分をのぼす 3
取 扱 内 容 〔 学 習 指 導 要 領 の 道 徳 〕 の 目 標 、 内 容 等 〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生命の尊厳について 第1学年では、生命とはどのようなものか、この世に生を受けたことや今生きていることについてどのように感じるかを考える活動等、第2学年では、自分自身の生命をどのように燃やし輝かせたいか、生命の尊厳とはどのようなことかを考える活動等、第3学年では、生命の尊さやかけがえのなさについてどのように考えるか、誰かのために生きるとはどのようなことかを考える活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</li> <li>○ 自然について 第1学年では、自然環境を守るために自分にはどのようなことができるかを考える活動等、第2学年では、これから自分たち人間は自然とどのように関わっていけばよいかを考える活動等、第3学年では、自分たち人間にとって自然とはどのようなものかを考える活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</li> <li>○ 伝統と文化について 第1学年では、これからどのように郷土やそこに住む人々と関わっていきたいかを考える活動等、第2学年では、長く受け継がれてきた郷土の伝統や文化にはそこに住む人々のどのような思いが込められているのかを考える活動等、第3学年では、郷土の発展のために自分にできることはどのようなことかを考える活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</li> <li>○ 情報化への対応について 第1学年では、インターネットを扱い、利用する場合には自主性や自律性、自由と責任を大切にしなければならないのはなぜかを話し合う活動等、第2学年では、SNSを扱い、情報機器に振り回されないためにはどのようなことを心がけるとよいかを話し合う活動等、第3学年では、インターネットを扱い、その利用に際してどのような責任が伴うかを話し合う活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</li> </ul>			
内 容 の 構 成 ・ 排 列 、 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列 言語活動については、各学年の別冊に感じたことや考えたことを記入する欄を配置し、問題解決的な学習については、各学年に問題の解決に向けて話し合うことができる教材を配置し、体験的な学習については、各学年に役割演技による学習を用いた教材を配置するなど、生徒が多面的・多角的に思考できるよう工夫されている。</li> <li>○ 内容の分量※ 第1学年～Aは8教材、Bは8教材、Cは14教材、Dは8教材、Eは3教材、全体で41教材であり、総ページ数は別冊を含め238ページとなっている。 第2学年～Aは8教材、Bは8教材、Cは12教材、Dは10教材、Eは3教材、全体で41教材であり、総ページ数は別冊を含め222ページとなっている。 第3学年～Aは10教材、Bは7教材、Cは13教材、Dは8教材、Eは3教材、全体で41教材であり、総ページ数は別冊を含め218ページとなっている。</li> </ul>			
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の別冊に、心に残った教材やその理由を記入する「心に残っている授業の記録」を配置し、自らの道徳的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒が自らを振り返るための工夫がなされている。</li> <li>○ 各学年に、家庭や地域の人との関わりを促す教材や、別冊に、家族との交流を促す記述欄を配置し、家庭や地域との連携を深めるための工夫がなされている。</li> <li>○ 道徳の学習の進め方を示すページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインを採用したりするなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>			
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 北海道と関連のある教材は、「襟裳のこと」など5箇所取り上げられている。</li> <li>○ いじめの問題については、いじめをなくすためにどのような自分でありたいかを考える活動等を取り上げている。</li> </ul>			

※ 「内容の構成・排列、分量等」の「内容の分量」のAは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材」を表す。



様式 2

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	233・日科	第1学年 第2学年 第3学年	道徳 730 道徳 830 道徳 930	道徳 中学校 1 生き方から学ぶ 道徳 中学校 2 生き方を見つめる 道徳 中学校 3 生き方を創造する
取 扱 内 容 〔 学 習 指 導 要 領 の 道 徳 の 総 則 及 び 目 標 、 内 容 等 〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生命の尊厳について 第1学年では、先祖から子孫へ受け渡していく生命の連続性について感じたことはどのようなことか、自分の生命、他の人の生命について感じたことはどのようなことかを考える活動等、第2学年では、生命とはどのようなものか、生命の尊厳を守るためにはどのように考えていけばよいかを考える活動等、第3学年では、命とはどのようなものか、生命の尊厳を守るためにはどのように考えていけばよいかを考える活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</li> <li>○ 自然について 第1学年では、環境の保全のためにできることはどのようなことかを考える活動等、第2学年では、地球の未来のためにできることはどのようなことかを考える活動等、第3学年では、自分がこれまで出会った自然の美にはどのようなものがあるかを考える活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</li> <li>○ 伝統と文化について 第1学年では、家族や地域の方の郷土への思いはどのようなものかを考える活動等、第2学年では、地域の伝統行事にはどのような意味があるのかを考える活動等、第3学年では、身の回りのもので長く受け継がれてきた日本人の技や知恵にはどのようなものがあるかを考える活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</li> <li>○ 情報化への対応について 第1学年では、スマートフォンを扱い、インターネット上ではどのようなコミュニケーションが望ましいかを話し合う活動等、第2学年では、インターネットを扱い、コミュニケーションをとる上でどのような配慮が必要かを話し合う活動等、第3学年では、インターネットを扱い、コミュニケーションをとるときに大切なことはどのようなことかを話し合う活動を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</li> </ul>			
内 容 の 構 成 ・ 排 列 、 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列 言語活動については、「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」を配置し、問題解決的な学習については、「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」を配置し、体験的な学習については、各学年に、道徳的行為に関する体験的な学習を用いた教材を配置するなど、生徒が多面的・多角的に思考できるよう工夫されている。</li> <li>○ 内容の分量※ 第1学年～Aは6教材、Bは8教材、Cは17教材、Dは6教材、Eは15教材、全体で52教材あり、総ページ数は192ページとなっている。 第2学年～Aは7教材、Bは8教材、Cは15教材、Dは7教材、Eは17教材、全体で54教材あり、総ページ数は192ページとなっている。 第3学年～Aは7教材、Bは7教材、Cは15教材、Dは8教材、Eは13教材、全体で50教材あり、総ページ数は192ページとなっている。</li> </ul>			
使 用 上 の 配 慮 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年に、「〇年生の心の成長を振り返りましょう」「〇年生の道徳の時間を振り返りましょう」を配置し、自らの道徳的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒が自らを振り返るための工夫がなされている。</li> <li>○ 各学年に、学校と家庭、地域社会をつなぐ「心の成長を目指して」を配置し、家庭や地域との連携を深めるための工夫がなされている。</li> <li>○ 道徳の学習の進め方を示すページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどを採用したりするなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>			
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 北海道と関連のある教材は「コンスタンチン君 命のリレー」など3箇所取り上げられている。</li> <li>○ いじめ問題については、友達とよい関係を築くにはどのようにしたらよいかを考える活動等を取り上げている。</li> </ul>			

※ 「内容の構成・排列、分量等」の「内容の分量」のAは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材」を表す。